

# 子どもの成長発達が保障できる児童育成クラブに！

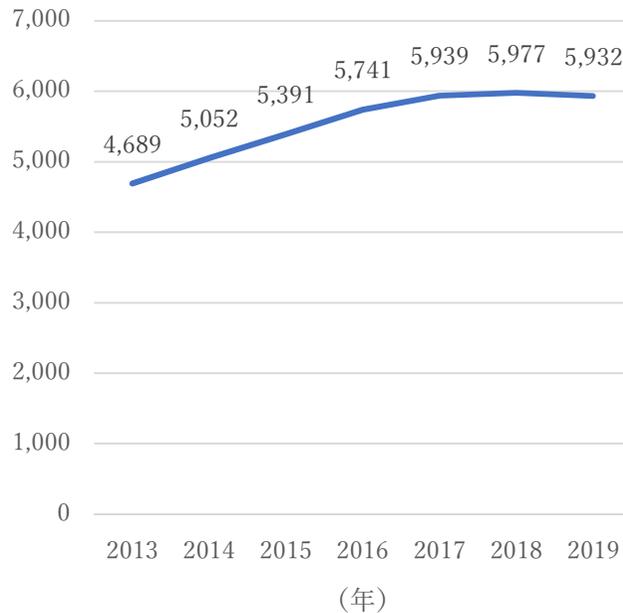
## 指導員の確保・処遇改善、保育内容の充実が必要です

### 増え続ける入会児童数

熊本市の児童育成クラブ入会児童数は年々増え続け、2019年4月末現在5,932人です。5年間で、約900人増えています。

また、入会児童数が100人を超えているクラブが17カ所あり、一番多いところは177人です。

児童育成クラブ入会児童数の推移



### 子どもたちの安全安心な生活の場として、質の確保も重要

児童育成クラブは、子どもたちが放課後時間を過ごす生活の場として、重要な役割があります。安全安心と成長発達を支える場として、指導員の人員確保とともに、内容の充実も大切です。

指導員の経験が活かされるような処遇の確保や、研修の充実も求められます。

日本共産党は、国会でも指導員確保や内容充実につながる正規職員確保・処遇改善を求めています。

### 不足している指導員の確保は急務

市内に80カ所ある育成クラブのうち37カ所で39人の指導員が不足の状態です。約半数のクラブで指導員が足りない状態は、速やかに改善されなければなりません。

窓口となっている青少年教育課では、随時指導員の募集を行っていますので、希望される方は下記までご連絡ください。

青少年教育課 ☎328-2277

### 弁護士による「無料法律相談」のご案内

毎月定例で無料の法律相談を行っています。どなたでもご利用できます。震災に関わる法律相談も含め、ぜひご利用ください。

「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 5月14日(火) 午後6時～8時  
さくら法律事務所(京町本町1-22) Tel 090-8667-3148
- 5月15日(水) 午前10時～12時  
中央区生活相談所(大江5-15-20) Tel 375-2200
- 5月20日(月) 午後6時～8時  
北区生活相談所(武蔵ヶ丘1-10-1) Tel 338-2001
- 5月24日(金) 午後1時～4時  
菜の花法律事務所(南区江越1-17-12) Tel 322-7731
- 5月24日(金) 午後1時30分～4時  
山本のぶひろ渡鹿生活相談所(渡鹿5-19-7) Tel 362-5181
- 6月14日(金) 午後3時～5時  
東区生活相談所(広木町7-23-2) Tel 328-2656

### 日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階  
発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか

NO. 1139  
2019年5月12日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP: 共産党 熊本市議団



検索



# 政令市で最も負担の重い国民健康保険料の引き下げを！

政令市の国保料比較  
両親・子ども2人・所得200万円世帯（円）

1	熊本市	405,015
2	大阪市	380,825
3	堺市	371,551
4	福岡市	367,800
5	札幌市	365,630
6	浜松市	363,700
7	岡山市	362,341
8	京都市	358,944
9	広島市	354,051
10	新潟市	347,600
11	静岡市	326,200
12	さいたま市	322,200
13	千葉市	311,930
14	北九州市	310,780
15	相模原市	304,100
16	仙台市	293,070
17	川崎市	282,500
18	名古屋市	279,320
19	横浜市	273,140
20	神戸市	267,270

## 所得の2割が保険料！ 政令市で最も高い国保料

大西市政のもと、4年間で2度の国民健康保険料の値上げが行われました。その結果、左表の通り、政令市の中で最も負担の重い国民健康保険料となり、市民生活に深刻な影響を与えています。



## 3世帯に1世帯が国保料を滞納

負担の限界を超えた国民健康保険料を滞納せざるを得ない世帯の割合も多く、31.2%（国保加入世帯：10万1382世帯、滞納世帯：3万1638世帯）となっています。全国平均が約15%ですので、熊本市の国保滞納率は全国平均の2倍となっています。

「食費を削って国保料を払っている」「国保料を払ったら医療費がなくなり受診を抑制している」など、切実な声が寄せられています。

## 預貯金・生命保険の差し押さえが激増！

国保料の滞納世帯に対し、差し押さえが近年激増しています。2013年には271件の差し押さえが行われましたが、2017年には1586件と6倍に激増しています。

「年金が振り込まれる貯金通帳が差し押さえられ



た」など、市民からの相談も寄せられています。

## 払える国保料へ引き下げを！

全国知事会や市長会は、国に対して1兆円の公費負担を求め、サラリーマン並み（国保料の6割程度）の国保料に引き下げよう要望しています。

また、国保は、世帯当たりの人数が増えると保険料が上がるという他の医療の保険にはない、人頭割りともいえる特別な仕組みがあります。この仕組みにより、熊本市では、子どもが1人生まれれば4万4700円、2人では8万9400

円、3人では13万4100円と保険料が増えていくこととなります。

収入のない子どもが多ければ、国保料が上がるという矛盾を解決するために、仙台市などは、子どもにかかる保険料の減免制度を実施しています。熊本市においても、国保料引き下げの独自の減免制度を行うべきです。